

## 詩篇 8 篇

「神は私たちが大切に思ってください」

8:1 私たちの主、【主】よ。あなたの御名は全地にわたり、なんと力強いことでしょう。あなたのご威光は天でたたえられています。

8:2 あなたは幼子と乳飲み子たちの口によって、力を打ち建てられました。それは、あなたに敵対する者のため、敵と復讐する者とをしずめるためでした。

8:3 あなたの指のわざである天を見、あなたが整えられた月や星を見ますのに、

8:4 人とは、何者なのでしょう。あなたがこれを心に留められるとは。人の子とは、何者なのでしょう。あなたがこれを顧みられるとは。

8:5 あなたは、人を、神よりいくらか劣るものとし、これに栄光と誉れの冠をかぶらせました。

8:6 あなたの御手の多くのわざを人に治めさせ、万物を彼の足の下に置かれました。

8:7 すべて、羊も牛も、また、野の獣も、

8:8 空の鳥、海の魚、海路を通うものも。

8:9 私たちの主、【主】よ。あなたの御名は全地にわたり、なんと力強いことでしょう。

### はじめに

世界で初めて宇宙に行ったロシア人宇宙飛行士は、帰還後あざけるように「宇宙で神は見えなかった。神はいない」と言ったといわれます。

一方、クリスチャンのアメリカ人宇宙飛行士ジョン・アレンは、宇宙を旅した経験が神への信仰を深めたと語ります。

すべては考え次第だということです。

無神論者が神はいないという先入観を持って宇宙に行けば、そこに見えるのはまったくの空虚です。

しかし、クリスチャンが宇宙に行けば、神の作品があちらこちらに見えるでしょう。

羊飼いだっただビデは、空の星をよく見上げました。

神を信じる信仰と神にささげる献身の心をもって夜空を見上げた彼は、そこにはっきりと神を見ました。

詩篇 8 篇で、ダビデは神がどういってお方であるか、そして神と人との関係について教えてください。

この詩篇は大きくふたつに分けて学びます。

まず、1-3 節では、ダビデが神について教えてください。

そして、4-9 節では、神と私たち人間の関係についてダビデがどう理解していたかがわかります。

### 1. 神はどういってお方か (1-3 節)

ダビデは、詩篇 8 篇 1-3 節で神について 5 つの事柄を挙げています。

#### a) 神は主である。(1 節)

「主」と訳された単語は太字で表記されています。それには理由があります。

この単語は、ヘブル語の「YHWH」つまりヤハウェまたはエホバから来ています。

このヘブル語の神の名は「わたしは自立自存である」という意味です。

人間が存在するには、食物、水、空気、睡眠、光、住居などあらゆるものが必要ですが、聖書の神はこのようなものは何も必要ありません。それは、神ご自身の力で存在できるからです。

### 出エジプト 3 : 13-15

3:13 モーセは神に申し上げた。「今、私はイスラエル人のところに行きます。私が彼らに『あなたがたの父祖の神が、私をあなたがたのもとに遣わされました』と言えば、彼らは、『その名は何ですか』と私に聞くでしょう。私は、何と答えたらよいのでしょうか。」 3:14 神はモーセに仰せられた。「わたしは、『わたしはある』という者である。」また仰せられた。「あなたはイスラエル人にこう告げなければならない。『わたしはあるという方が、私をあなたがたのところに遣わされた』と。」 3:15 神はさらにモーセに仰せられた。「イスラエル人に言え。あなたがたの父祖の神、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神、【主】が、私をあなたがたのところに遣わされた、と言え。これが永遠にわたしの名、これが代々にわたってわたしの呼び名である。

原語のヘブル語では、「わたしは」という言い回しと神の御名「ヤハウエ」は基本的に同じです。どちらも、「わたしは自立自存である」という意味です。

人は科学の大きな発展を遂げてきました。それでも、聖書の神の力によって存在せざるを得ません。

神は、自然の法則を定められました。人間がその自然の法則に逆らうと、それなりの影響が出ます。

今日、多くの人々が神はいないと言います。けれども、神とその被造物なしに存在できる人はいません。

### コロサイ 1:17

1:17 御子は、万物よりも先に存在し、万物は御子にあって成り立っています。

#### b) 神は偉大な創造主である。(3節)

3節で、ダビデがこれらの言葉を語ったとき、おそらく夜空を見上げ、月や星を見ていたのでしょう。

今日、大きく分けてふたつの考え方があります。

ひとつは、この世が偶然の産物だという考え方です。「ビッグバン宇宙論」と呼ばれるもので、「バン」と爆発したものが何であったかを説明できた人物はまだいません。

それは、この質問に誰も答えられないからです。というのも、もし何かが「バン」と爆発したと認めれば、その爆発物を造ったのは誰かということになるからです。

創造主なる神を否定し、人間の考え方を支持すれば、この世の知恵に従うことになります。

それでは、この世を誰が造ったかという真相にたどり着くことはできません。

主を「私たちの主」として受け入れると、このお方をすべての物事の土台として認められます。

神の創造を注意深く検証すると、その知恵の深さに驚きます。

たとえば、象の足は4本とも同じ方向に曲がります。

このような造りの動物は他にいません。象はあらゆる意味で他に類を見ない動物です。

象の大きな体を簡単に持ち上げるためには、4つの力点が必要なのです。

神の造られた花を取ってみても、日中の特定の時間に花が咲くものがあります。

リンネウスという有名な植物学者は次のように言いました。

「適切な土壌と湿度と温度を保った温室があれば、その中で花が開いたり閉じたりする様子を見て、時計がなくても時間を当てることができる。」

人が作ったものは必ずどこかに欠陥があります。

人の作るものは、消耗したり、壊れたり、さびたりします。また、時代遅れにもなります。

一方、神のお造りになった物は、独創的ですからすべてにおいて完成されています。

#### c) 神は超越したお方である。(1節)

「超越」とは、超えているとか、通常の域または物質的な人間の経験を飛び越えているという意味です。

ダビデは、神の威光が天でたたえられていると言いました。これは、聖書の神が、私たち人間の理解を超える世界に住み、働いておられるということです。

神は、時間も人間の考えも超えたところで働かれます。

神の御国は現実のものですが、私たちの住む世界とは別の次元にあります。

神のお考えを完全に理解することは不可能であるということを私たちは悟らなければなりません。

けれども、神のみことばである聖書を読むなら、私たちの創造主について徐々にはっきりとわかっていきます。また、私たちの住む次元における神のみことばについてもわかってきます。

#### d) 神は力強いお方である。(2節)

ダビデは、神が意外な物事を用いて驚くべき事柄をなされると知っていました。

神は、ご自身の目的を果たすのに人間の知恵や能力を必要とされません。

けれども、弱い人間をご自身の目的のために用いることを選んでくださいます。  
神は、小さな羊飼いの少年と 5 つのなめらかな石ころを用いて、巨人を倒されました。  
この少年は、強い兵士たちのできなかったことを成し遂げたのです。  
この少年は、この詩篇 8 篇を記したダビデです。  
この話は、サムエル記第一 17 : 37-58 に記されています。

#### コリント第一 1 : 27

1:27 しかし神は、知恵ある者はずかしめるために、この世の愚かな者を選び、強い者はずかしめるために、この世の弱い者を選ばれたのです。

私たちクリスチャンは、もっとも弱い時にこそ神の御力が大きく働くのを目にします。  
それは、人をおして神がなさることについて、聖書の神が賛美と栄光をお受けになるためです。  
聖書は、神がご自身の栄光を人間とは分かち合わないと教えます。

#### イザヤ 42 : 8

42:8 わたしは【主】、これがわたしの名。わたしの栄光を他の者に、わたしの栄誉を刻んだ像どもに与えはしない。

#### e) 神は勝利するお方である。(2 節)

2 節の後半は、コロサイ 2 : 15 の真理を信じるようにと私たちを励まします。

パウロはコロサイ人への手紙で、イエスの十字架上の死によって成し遂げられた大いなることについて信徒に教えています。

そこには、イエス・キリストが十字架上で死なれたとき、悪魔とその力が神によって完全に解除されたとあります。

私たちは神を信じる信仰によって、イエスをおして神が勝ち取られた勝利を自分のものにできます。

#### ヤコブ 1 : 13-14

1:13 だれでも誘惑に会ったとき、神によって誘惑された、と言ってははいけません。神は悪に誘惑されることのない方であり、ご自分でだれを誘惑なさることもありません。 1:14 人はそれぞれ自分の欲に引かれ、おびき寄せられて、誘惑されるのです。

この個所で、信徒は罪を犯し続けなくてよいとヤコブは明言しています。また、私たちの罪深い行いを神のせいにするにはできないとも語ります。

私たちクリスチャンには、罪を犯さない選択肢と、罪を犯さないように助けてくれる神の力が与えられています。

私たちに欠けているのは、神が罪深い行為よりもすばらしいものを備えていてくださるという理解かもしれません。その理解があれば、罪を犯さないよう動機づけてくれるからです。罪の力に勝利すれば、神が私たちのために備えてくださった最善の人生を享受することができます。

ダビデは何度かつまずきましたが、それでも神を信じるなら神が勝利を与えてくださるという認識は失いませんでした。

私たちも、人生にくじけそうになったとき、神に不可能はないと認め信じなければなりません。そして、勝利したクリスチャンとして生きていけるように神が助けてくださると信頼しなければなりません。

## 2. 人類とのかかわりにおける神 (4-9 節)

8 篇 4-9 節では、神の人類とのかかわりについて 3 つの事がわかります。

### a) 神は人間に心を留められる。(4 節)

ダビデは、創造の御業と神が人間に心を留めてくださるという事実を並べて考えます。

神がお造りになった多くのすばらしい被造物に比べると、人間は取るに足らないものだとダビデは感じます。

そして、神が人類に心を留められるだけでなく、愛情を注がれると言います。

4節の後半には、福音のメッセージが見て取れます。

人間に対する神の心配りの頂点は、人の子がこの世に来られたことを考えるとわかります。これは、イエス・キリストのことです。天の栄光を離れてこの世に来てくださったお方です。人間は神に逆らい罪を犯していましたが、神は人間の世界に来てくださいました。

神は、イエス・キリストという姿で人となってくださったのです。

そして、人類を救うためにご自身のいのちを自らささげ、十字架で死なれました。

それが、神の聖さを妥協することなく、ご自身がお造りになった人類を取り戻す唯一の方法だったからです。

神は、たったひとつの命令にアダムとエバが逆らえば死ぬと、ふたりにおっしゃいました。その約束どおり、アダムとエバが神に逆らったことが原因で、死がこの世の現実の一部となりました。

しかし、神はご自身の造られた人間を深く愛しておられるので、イエスをとおして罪の赦しを提供していただけます。私たちの肉体が死んだ後には、衰えることのない新しい体とよりよい住処が与えられます。

神を愛する人のために神が備えてくださる新しい場所には、罪も病気も苦しみもありません。ですから、神が人間のことを何とも思っておられないとは決して言えません。

イエスに目を向けてみてください。そうすれば、神がどれだけ私たちを愛してくださっているかがわかるでしょう。

#### b) 神は、栄光と誉れをもって人を造られた。(5節)

人類は、神の被造物の中でも他に類を見ない唯一の存在です。私たちは、神より少し劣るものとして造られました。

#### 創世記 1 : 26-27

1:26 神は仰せられた。「さあ人を造ろう。われわれのかたちとして、われわれに似せて。彼らが、海の魚、空の鳥、家畜、地のすべてのもの、地をはうすべてのものを支配するように。」 1:27 神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして彼を創造し、男と女とに彼らを創造された。

神に似せて造られるとはどういうことでしょうか。

100年ほど前までは、日本の天皇は太陽の女神「天照大御神（あまてらすおおみかみ）」の子孫だと一般的に信じられていました。

少なくとも半分は神であると思われていました。

第二次世界大戦後の歴史から、天皇が神ではないということが明らかになりました。

聖書からわかるのは、神に似せて造られていても、私たち人間は神ではないということです。

#### ホセア 11 : 9

11:9 わたしは燃える怒りで罰しない。わたしは再びエフライムを滅ぼさない。わたしは神であって、人ではなく、あなたがたのうちにいる聖なる者であるからだ。わたしは怒りをもっては来ない。

聖書の神の特質を持つ人は誰もいません。

全知全能で、同時にあらゆる場所に存在できる人はいません。

人は、神のイメージを映す鏡のようなものであり、神ご自身ではありません。

人を見て、神に似た部分が随所にみられるかもしれせん。

これは、神がご人格をお持ちのお方で、神が私たちを実存する人としてお造りになったからです。私たちは個々の人格を持った人間です。集合体であっても各々の状況があります。

私たちには、神が私たちに友として関わられる個性や性質があります。

神は、ご自身の永遠のご性質の一部を人間にお与えになりました。神は、永遠に存在する霊を持つものとして私たちを造られました。

神は、永遠の交わりを持つために私たちを造られたのです。

神は、一時的な関わりを持つ人形やおもちゃのように私たちを造られたものではありません。

聖書は、神が人の心に永遠を与えられたと語ります。

### 伝道者の書 3 : 11

**3:11** 神のなさることは、すべて時にかなって美しい。神はまた、人の心に永遠を与えられた。しかし人は、神が行われるみわざを、初めから終わりまで見きわめることができない。

神は、創造する能力を人に与えられました。神は、ご自身の知性の一端を人類に与えられました。私たちの脳はスーパーコンピューターのように、物事を調査し、理解することができます。

人は、考えをもった知的な存在として神に関わることができます。

神には気持ちがあります。それで、人も気持ちを与えられています。

神は、人が親切を経験できるようにと望まれました。

神は、人が親切や感謝を表現できることも望まれました。

気持ちを感じ取れる能力は、人間として非常に重要な要素です。

感情がなければ、周囲の人への対応はロボットのように、すべて計算で割り出された温かみのないものになり、気持ちを感じるということはできません。

神は人に意志を与えられました。

これは、あらゆる選択をする能力です。

また、善悪を見分ける能力です。

選択肢が与えられていると、自由に自分の好きなものを選びます。

神は、私たちを機械のように造られたのではありません。私たちは、神を愛することも愛さないことも自由に選びます。

神に似せて造られたということは、神がお持ちの性質をいくらか備えて造られているということです。神ご自身と友情ある関わりを持つためです。

先週、私は「徹夜」という英国のラジオ番組を聞いていました。

英国と米国の時差の関係で、その番組ではよくアメリカ人をインタビューします。

月曜日に番組司会者がインタビューしたのは、メキシコシティから一時間ほどの場所で誘拐されたアメリカ人夫妻でした。

犯人グループのひとりが誘拐した妻を3度も暴行しようとしてしました。夫はもうたくさんだと思いました。妻が神に助けを求めると、神がこの夫婦を助けてくださいました。

奇跡が起こり、ふたりとも無事に逃げられました。妻も強姦の被害に遭わずに済みました。

感動的なインタビューで、神が確かにこの夫婦を助けてくださったと聞いていてわかりました。

彼らが必要なときに、神が直接手を差し伸べてくださったおかげで、ふたりは今その話を伝えることができます。

### **c) 神は、人に栄光と誉れの冠をかぶせられた。(5-8 節)**

神は人のことを心に留めてくださるので、ご自身に似せて造られただけでなく、人をすべての被造物の上に置かれました。

この誉れの冠とはどういう意味でしょう。

この詩篇の著者は、神の被造物の世話係となることを意味すると言います。

人類には、神の被造物の世話をする責任が与えられています。

人類は、神の造られた動物の面倒をしっかり見ることができていません。

2008 年から 2011 年の 3 年間で、アフリカゾウ 10 万頭が殺されました。象牙の需要を満たすためです。

現在、象牙の主な購入者は中国人です。

このままではアフリカゾウは絶滅してしまうでしょう。

毎年、海鳥 100 万羽、海の生物 10 万匹がビニール袋などのプラスチックごみが原因で死んでいます。これらの動物に危害を与えない適切な方法で人間がプラスチックごみを廃棄しないからです。

ここではこのふたつの問題だけを挙げましたが、神の造られたこの世界と被造物の世話をするという務めを人間が怠っている例は他にもたくさんあります。

なぜこんなことになってしまったのでしょうか。

象牙問題では、象牙製品を求める人間の欲望や貪欲が原因です。  
罪の性質が何かを欲し、神のお造りになった象の面倒を見るという神の言いつけを無視した結果です。  
プラスチックごみの問題は、おもに金銭問題です。  
海にプラスチックごみを廃棄するのはただですが、リサイクルや適切な処理にはお金がかかります。  
人間は、神の造られた海鳥や海の生き物を世話することよりも、お金を優先させてしまったのです。  
世間は、神の造られた世界を破壊しているという問題に気づき始めていますが、なぜそうなったのかという問題の核心には迫っていません。

問題の核心とは、アダムとエバが善悪の知識の木の実を食べてはならないという神の唯一の命令に逆らったときから、すべての人が罪の性質をもって生まれているという事実です。  
罪の性質とは、神の律法といのちに対する責任に逆らうことです。  
罪とは、聖書の神を無視して自分の道を進み、神なしに人生を意義あるものとしようとすることです。  
結果必ず、罪の性質の欲望を満たそうとするようになります。  
プラスチックごみの問題は、新たな法律やプラスチック製品の規制で解決されるかもしれません。  
アフリカゾウも絶滅せずに済むかもしれません。  
けれども、解決できないことがひとつあります。それは、人間の心の問題です。  
神だけが、その問題を解決できるお方です。  
神はすでに、御子イエス・キリストをこの世に遣わすことによって、問題解決してくださいました。  
神の聖霊だけが、私たちに新しい心を与えられるお方です。  
その新しい心とは、永遠に神に従うことを求め、神によって満たされる心です。  
もし神に永遠に心を変えてほしいと思うなら、あなたにはイエスが必要です。  
神の聖霊の力によってイエスに心の中に住んでいただく必要があります。  
もしそう願っているなら、今日帰る前に必ず誰かといっしょに祈ってください。

アーメン。